

提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

案 件 名：あきる野市再編等に関する実施計画（案）

募 集 期 間：令和7年10月1日（水）～令和7年10月14日（火）

意見等提出件数：31件（提出者30名）

あきる野市再編等に関する実施計画（案）に対する意見募集にご意見ありがとうございました。
以下のとおり、ご意見の概要と市の考え方について、ご紹介させていただきます。

項目	意見の概要	市の考え方
五日市図書館の再編等に関するもの	五日市図書館について、メンテナンスなどをしながら、今の場所に残して欲しい。	五日市図書館については、建築から約50年が経過しており、いずれかの段階で建替えが必要となります。また、現在の五日市図書館の敷地面積と建築面積を考慮すると、現地での建替えを行うには、長期間休館する、仮設図書館を整備し一時的に移転するなどの措置が必要であり、現位置での建替えは難しいと考えています。このような状況のほか、公共施設の再編等の取組が必要であることを考慮し、現五日市地域交流センター等の敷地に移転・規模縮小・複合化・多機能化する方針を定めています。市では、五日市郷土館、五日市図書館等の様々な機能を有する公共施設を集約化・複合化・多機能化することにより、幅広い利用が可能となり、各施設の魅力や機能をより高めることができると考えています。
説明会、意見交換会の開催を求めるもの	説明会、意見交換会を開催して欲しい。	再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。
パブリックコメントの期間に関するもの	パブリックコメントの期間が短すぎる。	この度のパブリックコメントの期間につきましては、公共施設の再編等の方向性を示す「再編等に関する実施計画」の策定に当たり、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」に基づき、14日間としました。
五日市郷土館の再編等に関するもの	五日市郷土館の再編等について、文化財などが適切に保存されるのか。	五日市郷土館の再編等の方向性に沿った具体的な方策は、今後検討していくますが、二宮考古館と五日市郷土館（郷土館）を規模縮小・移転、集約化する場合には、文化財を適切に展示・保存・管理するための設備を備える考えです。
再編等の必要性に関するもの	なぜ再編等が必要なのか。	公共施設の再編等の取組につきましては、この度の再編等に関する実施計画（案）に付随する資料に記載していますとおり、「旧市町で保有していた施設の機能重複などから、公共施設の市民1人当たりの延べ床面積が多くなっている。」「人口減少、少子高齢化、西部で将来の減少率が大きいなどの人口動態から、施設利用者の減少が見込まれる。」「公共施設の更新費用の不足が見込まれる。」ことから、将来にわたって適切な公共サービスを提供するために、必要な取組であると考えています。
中央図書館、東部図書館エル、中央図書館増戸分室の再編に関するもの	中央図書館等の規模縮小・多機能化に疑問がある。	中央図書館等の再編等の方向性である「規模縮小」は、公共施設等個別施設計画において、「設置義務性との兼ね合いで、利用度が低調（今後の見込みを含む）であり、施設規模の縮小を検討することが妥当」であることを示しています。また、「多機能化」は、「多機能化を検討することが妥当」であることを示しています。これらを

		踏まえ、中央図書館等は、施設の需要傾向に応じて施設規模を縮小するとともに、施設利用者のニーズの高い新たなサービスの提供を行う方針（規模縮小・多機能化）を定めることとしています。
中央公民館の再編等に関するもの	中央公民館の規模縮小に疑問がある。より充実させるべき。	<p>中央公民館の再編等の方向性である「規模縮小」は、公共施設等個別施設計画において、「設置義務性との兼ね合いで、利用度が低調（今後の見込みを含む）であり、施設規模の縮小を検討することが妥当」であることを示しています。また、「複合化」は、「スペースの活用や利用効率の向上が課題であり、機能の複合化を検討することが妥当」であることを示しています。これらを踏まえ、中央公民館は、施設の需要傾向に応じて施設規模を縮小するとともに、機能面においては、他の公共施設の再編等に合わせ、他の施設の機能を複合化する方針（規模縮小・複合化）を定めることとしています。</p> <p>中央公民館の再編等に関する実施計画（案）における再編等の方向性の一部である「一部機能移転」は、他の公共施設に公民館機能の一部を移転することを想定しており、対象施設や機能の位置付け（分館とするのかなど）を含め、別途検討することとしています。</p>
秋川キララホールの再編等に関するもの	秋川キララホールの再編等について、中規模ホールの集約化に反対する。中規模ホールには中規模ホールの機能がある。	秋川キララホールは、市内の中規模ホールを集約化する方針を定めることとしていますが、中規模ホールの機能を大規模ホールの機能で賄う施設を想定しているものではなく、大規模ホールの機能と中規模ホールの機能を両立できる施設（大規模ホールと中規模ホールの2つのホールを備えた施設、舞台や客席の配置等を変更し、大規模ホールと中規模ホールを切り替えることができる施設など）を想定しています。再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。